

第4章

まちづくりの課題

4-1 まちづくりの課題の整理

第4章 まちづくりの課題

4-1 まちづくりの課題の整理

(1) 分野別の課題の整理

「町の現況・特性」を踏まえ、分野別のまちづくりの課題を整理しました。

<まちづくりの課題>

分野	まちづくりの課題
人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の人口構造を見据えたまちづくりの推進（人口減少、少子高齢化への対応） ● 古い住宅団地内や既存集落地などにおいて、高齢者が安心して暮らし続けられる居住環境の形成 ● 陽なたの丘など、住宅地開発により一時的に増加している年少人口への対応
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 名古屋都市圏のベッドタウンとしての良好な住宅地環境の維持 ● 古い住宅団地の再生、高齢居住者などの生活利便性の確保 ● 地域特性に応じた土地利用の推進 ● 今後増加する空家などへの対応 ● 市街化調整区域の豊かな自然環境や景観資源の維持・保全 ● 災害の危険性に配慮した土地利用の推進（規制・誘導）
産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業の活性化 ● 身近で買い物できる商業環境づくり ● 既存の工業（操業）環境の維持・改善 ● 高い交通利便性を活かした新たな産業（企業）の誘致 ● 地域資源や立地特性を活かした観光の魅力づくり
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 慢性的な交通渋滞の解消や未整備都市計画道路の早期実現 ● 狭あい路の改善など住民が安全に利用できる生活道路の整備 ● 鉄道や循環バスなど既存公共交通の利用環境の維持や更なるサービス向上 ● 巽ヶ丘駅をはじめとする名鉄河和線各駅前の環境整備
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ● 居住地周辺での身近な公園の整備（都市公園の未整備エリアの解消） ● 既存の都市公園の適切な維持管理の推進
河川・下水道	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川の治水対策など防災安全性の向上 ● 河川の自然環境・景観資源の維持・保全、レクリエーションとしての活用促進 ● 下水施設の適切な維持管理の推進
公共公益施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口動態や行財政状況に配慮した公共公益施設の適切な維持・管理、配置・整備
自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 阿久比川など町を代表する景観資源の維持・保全 ● ホタルなど、生物生息環境への配慮・保全 ● 自動車に依存しない、環境にやさしいまちづくりの推進
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物の防火や耐震化の促進 ● ハード・ソフト両面での防災対策の充実 ● 災害に強いまちづくりの推進（事前防災、国土強靱化への対応）

(2) 都市づくりの課題の整理

分野別のまちづくりの課題を踏まえたうえで、上位・関連計画や社会経済情勢、住民意向などを鑑み、今後取り組むべきまちづくりの課題（取り組みの方向性）を整理しました。

《まちづくりの課題(取り組みの方向性)》

① 将来的な人口減少と超高齢化を踏まえた生活の質の向上による持続可能なまちづくり

本町の将来の人口問題に備えるため、以下のようなまちづくりに取り組む必要があります。

- 日常生活に必要なサービスが身近にある、高齢者や子育て世代が暮らしやすい居住環境の形成
- 既存の公共交通サービスの維持・充実
- 公共公益施設など、既存ストックの適切な維持管理・有効活用の促進 など



② 知多半島の中央部に位置する立地特性を活かしたまちづくり

本町の強みである広域利便性の高い立地環境を活かし、以下のようなまちづくりに取り組む必要があります。

- 知多半島道路阿久比インターチェンジが立地する広域交通利便性を活かした産業の振興
- 知多半島の中央部に位置する立地特性を活かした観光・交流の促進
- 6次産業化の推進など、地域資源を活かした農業の活性化 など



③阿久比川や田園風景など、豊かな自然環境と共生・調和したまちづくり

本町の豊かな自然・景観環境を保全・継承するため、以下のようなまちづくりに取り組む必要があります。

- 阿久比川や田園など、豊かな自然環境・景観資源の維持・保全と有効活用の促進
- 市街地や既存集落地の生活のうるおい・やすらぎの場となる緑の確保
- 自然環境と共生した低炭素・循環型社会への転換 など



④防災・減災対策の強化・充実による安全安心な暮らしを実現するまちづくり

頻発する自然災害から住民の命、財産を守るため、以下のようなまちづくりに取り組む必要があります。

- 河川氾濫や急傾斜地の崩落など、大規模自然災害への事前対策・準備の強化
- 安全・快適な道路環境の整備
- 市街地や既存集落地の防災・避難の場となるオープンスペースの確保 など

